

## 物流管理効率化新技術確立事業（拡充）

【物流管理効率化新技術確立事業 97（95）百万円】

### 対策のポイント

生鮮食品流通における検品、分荷、商品管理などの物流プロセスに電子タグを導入し、電子化された取引情報の活用と相まって大幅な労働省力化を実現するための作業体系を開発します。

（生鮮食品流通の現状）

- ・ 生鮮食品流通においては、卸売市場を中心として情報化の立ち遅れにより労働集約的な作業体系となっています。このため、流通コストの削減の余地が依然として大きい状況となっています。

（課題）

- ・ 近年開発が進んでいる電子タグなどの情報技術の導入により、効率的な作業体系を構築する必要があります。

### 政策目標

我が国の生鮮食品等流通の大宗を占める卸売市場において、実証実験を通じ、電子タグ活用の作業体系を確立・普及し、これを導入した市場における物流作業コストを4分の1程度削減

< 内容 >

卸売市場を中心とする生鮮食品流通に電子タグを導入することによる最適な作業体系を開発します。具体的には青果物及び水産物流通の産地、卸売市場、小売の各流通段階において実用ベースでの実証実験を行います（前年に比べ取引現場における状況をより詳細に把握するため実証期間を延長）。実証実験で得られたデータから作業省力化や情報伝達の正確性を測定・分析し、その効果について総合的評価を行います。 【定 額】

< 事業実施主体 >

民間団体

< 事業実施期間 >

平成17年度～平成19年度

[ 担当課：総合食料局流通課（03 - 3502 - 8236（直））]